

**障害者基本計画の見直し
及び第3期障害福祉計画の策定に係る
アンケート調査報告書**

平成23年9月

四街道市

目次

I 調査の概要

1 調査の目的.....	2
2 調査設計	2
3 回収結果	2
4 報告書の見方	3

II 調査結果

1 はじめに、あなた自身のことについてうかがいます	6
2 介助のことについてうかがいます	21
3 日中の過ごし方についてうかがいます	29
4 外出・社会参加の状況についてうかがいます	42
5 ふだんの生活の困りごとなどについてうかがいます	51
6 福祉情報などの入手状況についてうかがいます	59
7 サービスの利用状況や利用意向についてうかがいます	62
8 今後、希望する暮らし方についてうかがいます	65
9 災害時の対応についてうかがいます.....	68
10 福祉施策などのことについてうかがいます.....	74

III 調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、障害者基本計画の見直し及び第3期障害福祉計画を策定するにあたり、障害のある方々の日常生活の状況や将来への希望、福祉サービスの利用状況、利用意向などに関するご意見やご要望などを把握し、計画策定の基礎資料として障害者福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

2 調査設計

調査地域：市内全域

調査対象者：市内在住の介護保険認定者を除く身体障害者手帳、療育手帳ならびに精神障害者保健福祉手帳所持者

調査期間：平成23年5月12日～平成23年6月13日

調査方法：調査票による本人記入方式（本人が記入できない場合は家族等）
郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

3 回収結果

調査対象者数 (配布数)	回収数	有効回収数	回収率
2,262	1,570	1,567	69.3%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対するそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

II 調査結果

1 はじめに、あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。(単数回答/数量回答)

性別についてみると、全体では「男性」がやや多く半数を超えています。

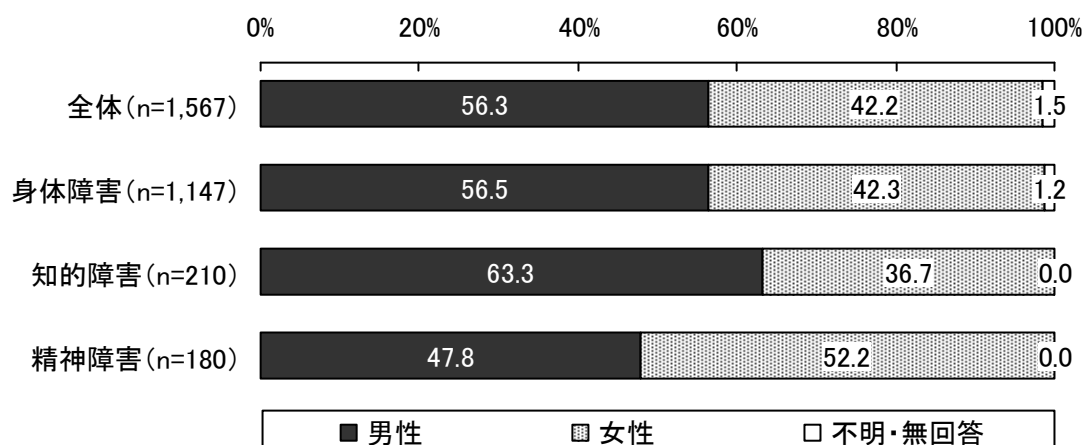
障害種別でみると、身体障害と知的障害では「男性」が「女性」を上回っており、特に知的障害では6割を超えています。一方、精神障害では「女性」が「男性」を上回っています。

年齢についてみると、全体では「60～69歳」が22.4%と最も高く、60歳以上が5割を超えています。

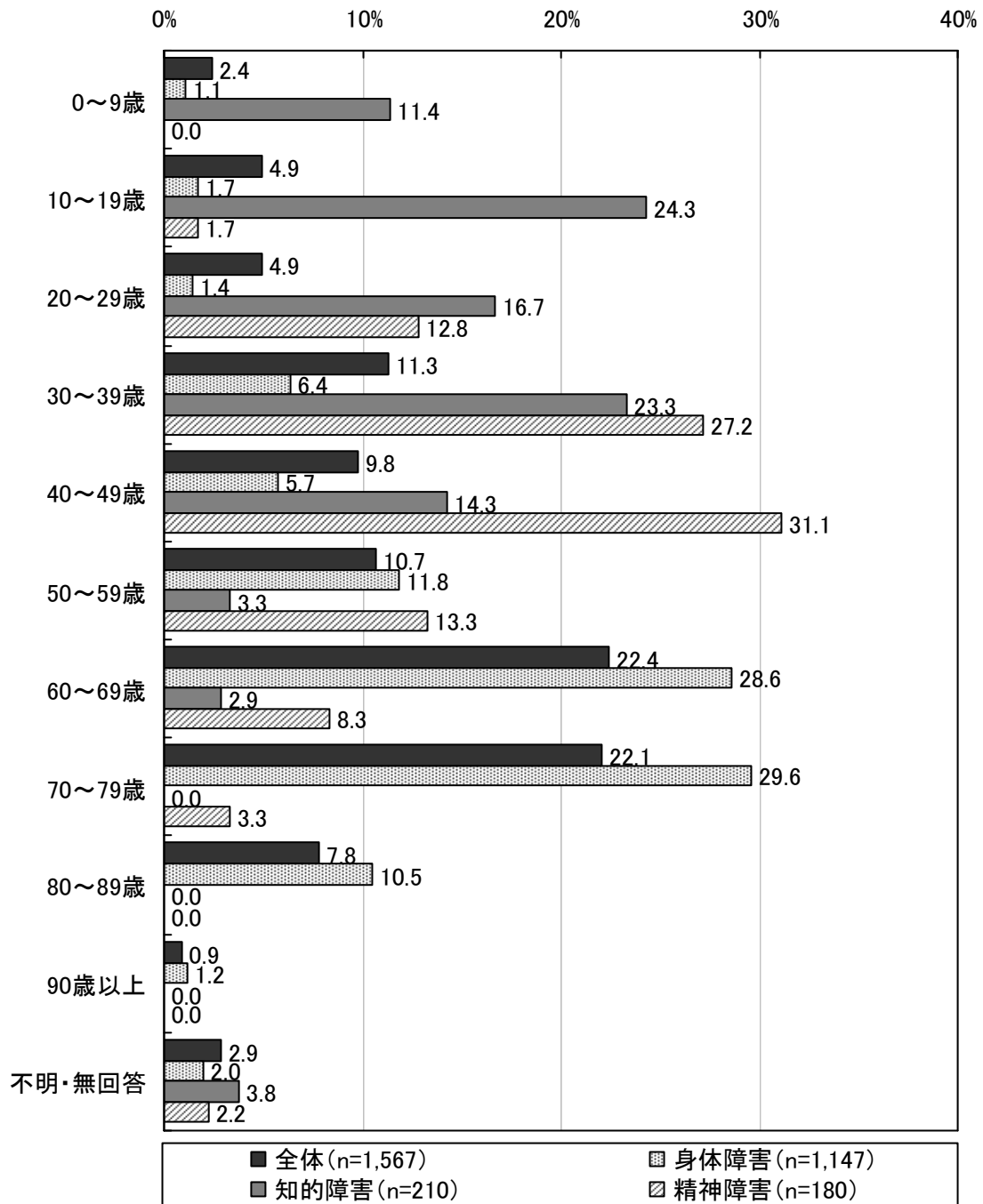
障害種別でみると、身体障害では「70～79歳」が29.6%と最も高く、次いで「60～69歳」が28.6%となっています。知的障害では「10～19歳」が24.3%と最も高く、次いで「30～39歳」が23.3%となっています。精神障害では「40～49歳」が31.1%と最も高く、次いで「30～39歳」が27.2%となっています。

身体障害では高齢者、知的障害では若年者、精神障害ではその中間の年齢層の人が多いことがうかがえます。

【性別】

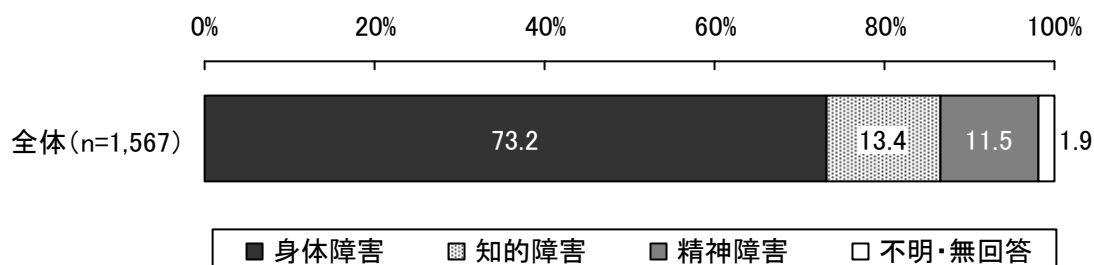


【年齢】



問2 あなたの障害の種類は何ですか。(単数回答)

障害の種類についてみると、「身体障害」が73.2%と最も高く、次いで「知的障害」が13.4%、「精神障害」が11.5%となっています。

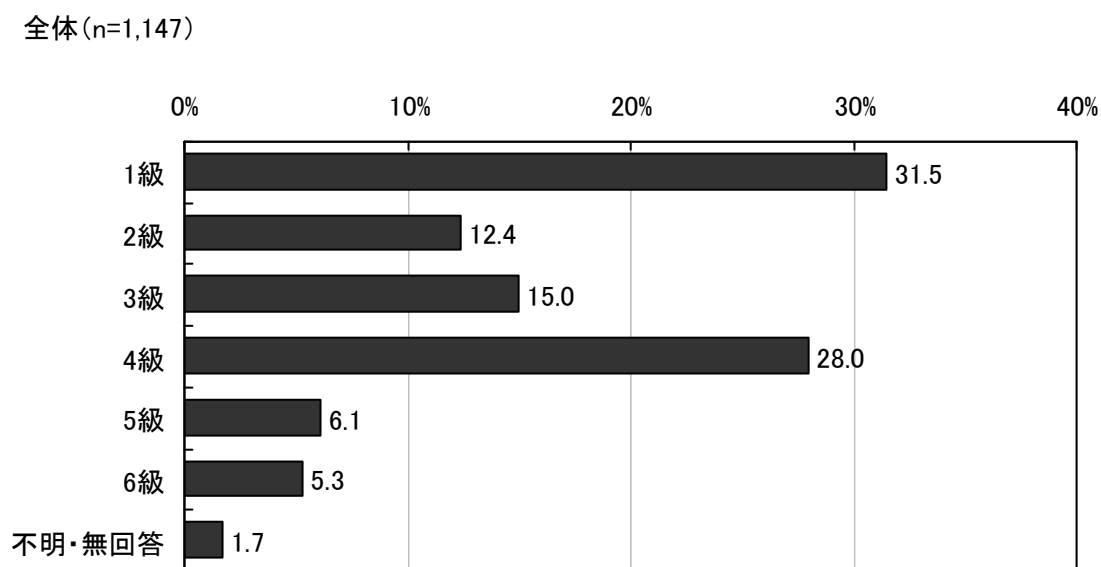


【問3～6は問2で「1 身体障害」と回答した人】

問3 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(単数回答)

身体障害者手帳に記載された障害の程度についてみると、「1級」が31.5%と最も高く、次いで「4級」が28.0%、「3級」が15.0%となっており、重度・中度の方が比較的多いことがうかがえます。

年齢別にみると、50歳未満と60～69歳では「1級」、60～69歳を除く50歳以上では「4級」が最も高くなっています。



■年齢別

		n数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明・無回答
年齢別									
身体障害	10歳未満	13	53.8	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	20	65.0	20.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	20～29歳	16	56.3	6.3	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
	30～39歳	73	47.9	17.8	6.8	17.8	6.8	2.7	0.0
	40～49歳	65	33.8	24.6	9.2	18.5	6.2	6.2	1.5
	50～59歳	135	23.0	21.5	9.6	32.6	5.2	5.9	2.2
	60～69歳	328	31.4	11.6	15.5	28.4	8.2	4.3	0.6
	70～79歳	340	28.8	6.8	18.5	34.1	5.6	4.4	1.8
	80歳以上	134	26.1	8.2	19.4	28.4	4.5	9.7	3.7

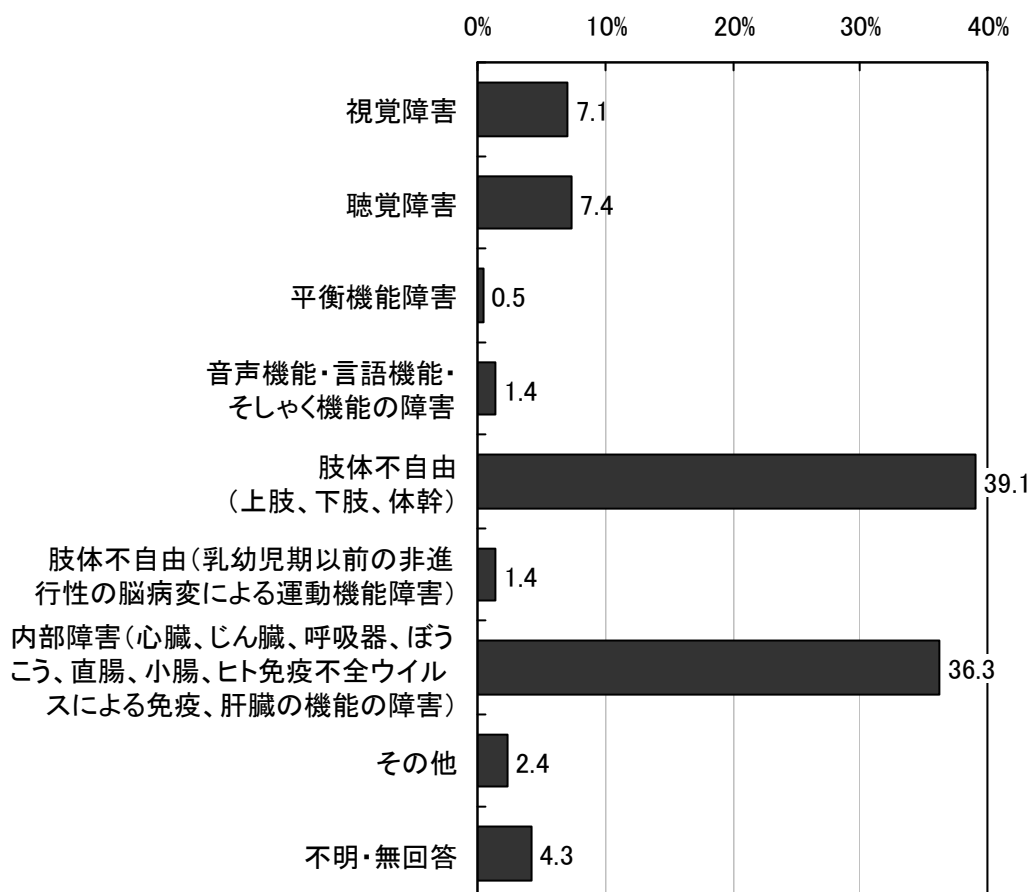
問4 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。最も重いもの1つに◎をし、その他該当するものすべてに○をつけてください。(単数回答/複数回答)

身体障害者手帳に記載されている障害のうち、最も重い障害についてみると、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」が39.1%と最も高く、次いで「内部障害」が36.3%となっており、「肢体不自由」と「内部障害」で全体の7割以上を占めています。

また、重複して障害を持っている方は106人で、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」が37.7%と最も高く、次いで「音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害」が30.2%、「平衡機能障害」が24.5%となっています。

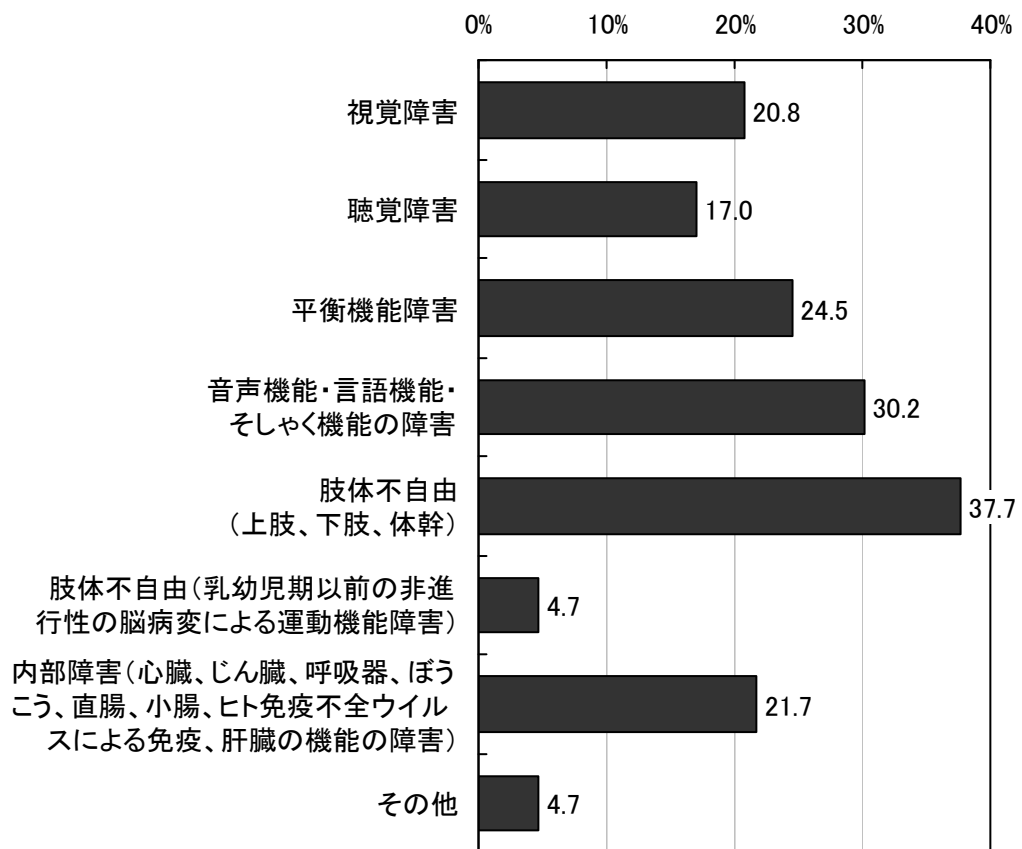
【最も重い障害】

全体(n=1,147)



【その他に該当する障害】

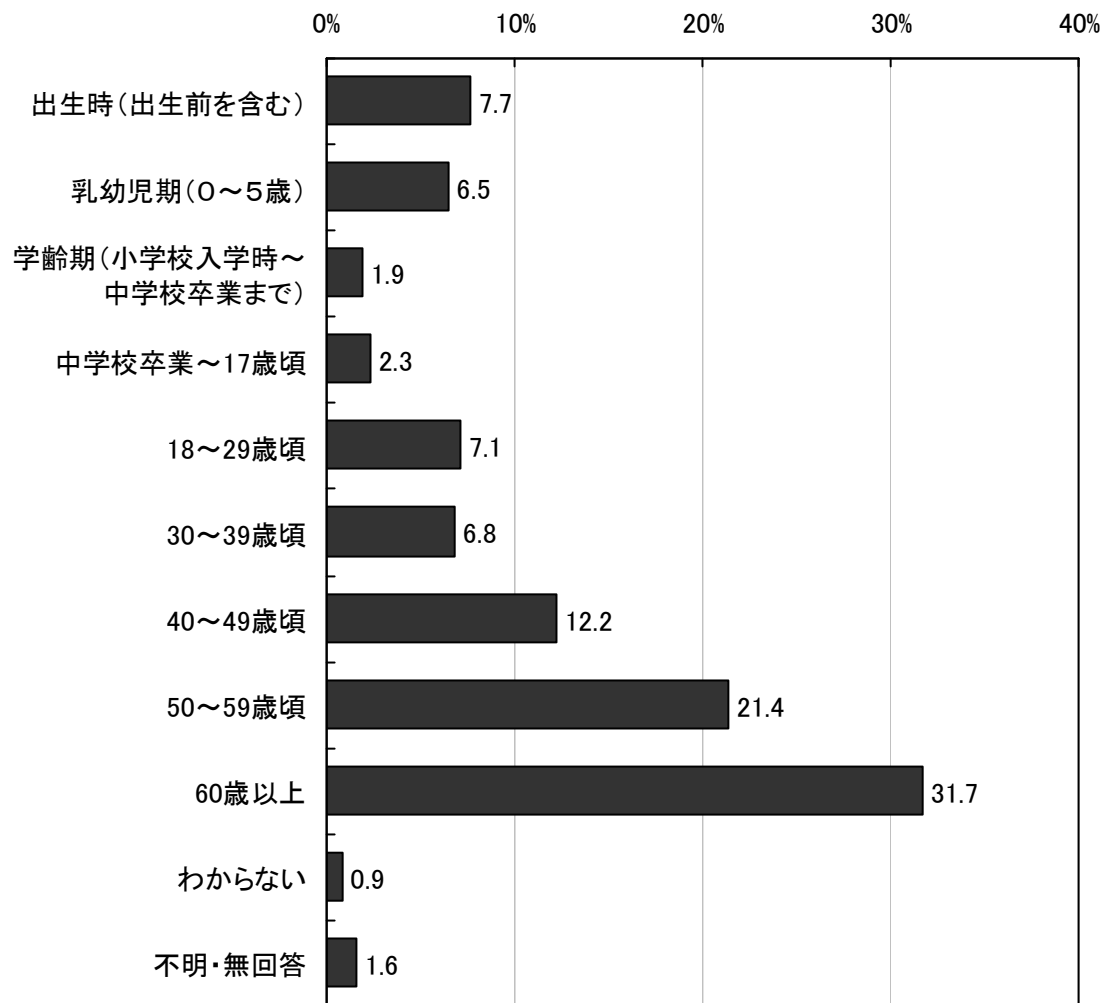
全体(n=106)



問5 あなたが現在の障害の状態になったのはいつ頃ですか。(単数回答)

身体障害者手帳を持っている方が現在の障害の状態になった時期についてみると、「60歳以上」が31.7%と最も高く、次いで「50～59歳頃」が21.4%、「40～49歳頃」が12.2%となっており、40歳以上で現在の障害の状態になった方が6割を超えています。

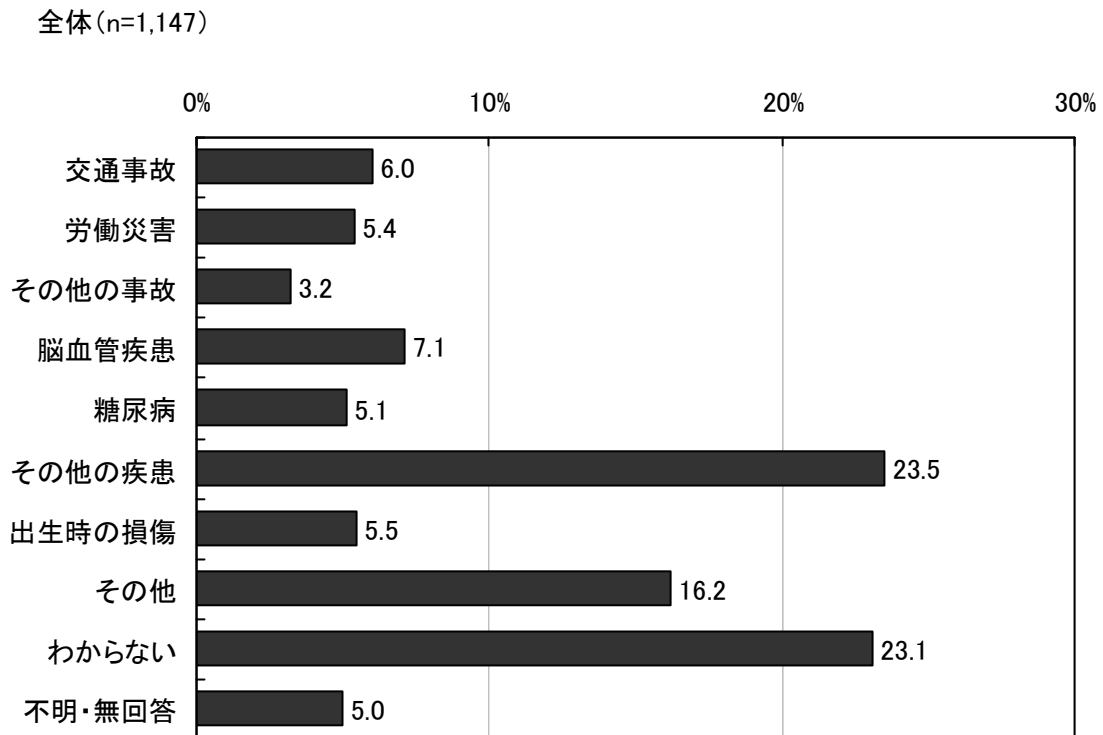
全体(n=1,147)



問6 あなたの障害の主な原因は何ですか。(単数回答)

身体障害者手帳を持っている方の障害の主な原因についてみると、「その他の疾患」が23.5%と最も高く、次いで「わからない」が23.1%、「その他」が16.2%となっています。

また、「その他」の内容としては、「高齢のため」や「心臓病」「リウマチ」「高血圧」などが多くなっています。

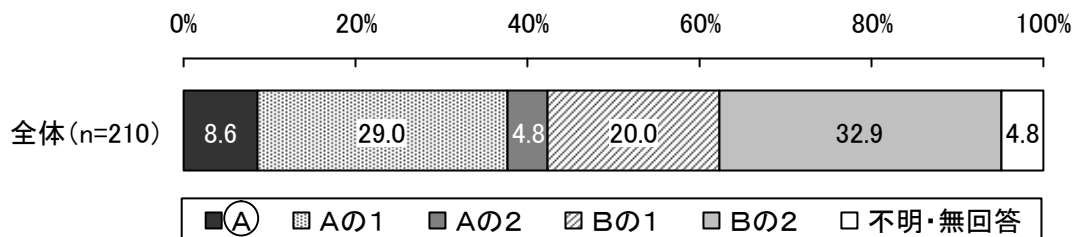


【問7、8は問2で「2 知的障害」と回答した人】

問7 「療育手帳」に書かれている障害の程度はどれですか。(単数回答)

療育手帳に記載された障害の程度についてみると、「Bの2」が32.9%と最も高く、次いで「Aの1」が29.0%、「Bの1」が20.0%となっており、比較的軽度の方が多いことがうかがえます。

年齢別にみると、30歳未満では「Bの2」、30～49歳では「Aの1」、50～59歳では「Aの1」と「Bの1」、60～69歳では「A」が最も高くなっています。



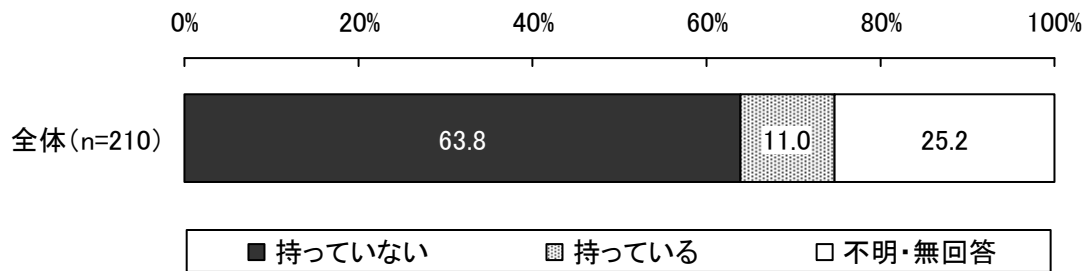
■年齢別

		n数	Ⓐ	Aの1	Aの2	Bの1	Bの2	不明・無回答
年齢別								
知的障害	10歳未満	24	0.0	29.2	0.0	20.8	50.0	0.0
	10～19歳	51	13.7	13.7	3.9	25.5	41.2	2.0
	20～29歳	35	2.9	25.7	8.6	28.6	34.3	0.0
	30～39歳	49	12.2	36.7	6.1	12.2	28.6	4.1
	40～49歳	30	6.7	50.0	3.3	13.3	23.3	3.3
	50～59歳	7	0.0	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3
	60～69歳	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0

問8 あなたは身体障害者手帳を持っていますか。(単数回答)

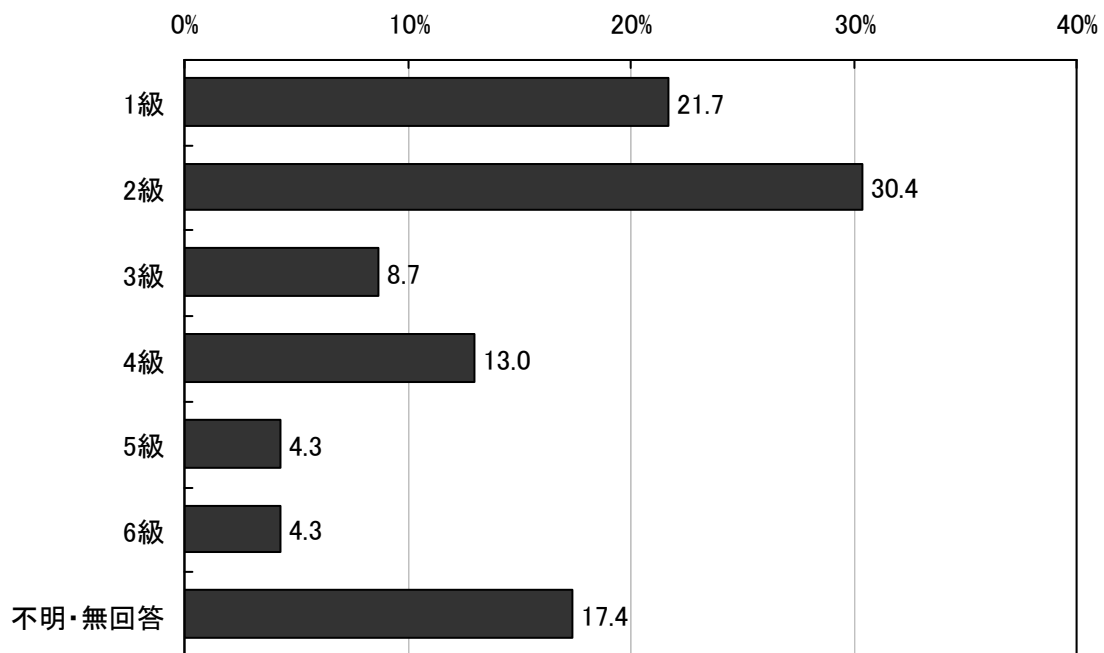
療育手帳を持っている方で身体障害者手帳を持っているかについてみると、「持っていない」が「持っている」を上回り6割を超えています。

また、身体障害者手帳を持っている方の等級についてみると、「2級」が30.4%と最も高く、次いで「1級」が21.7%、「4級」が13.0%となっています。



【持っている人のみ回答—手帳に書かれている等級】

全体(n=23)

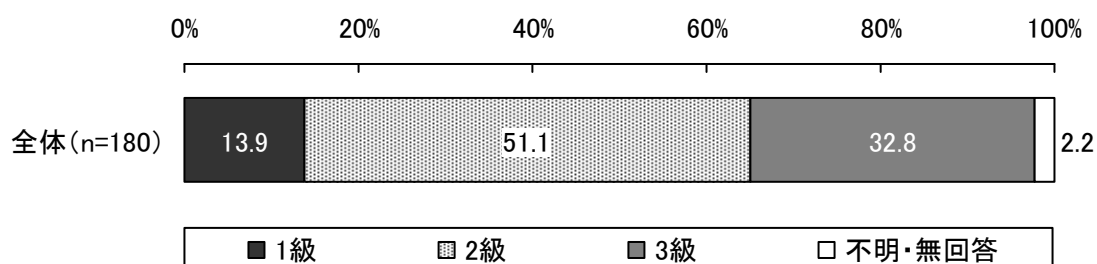


【問9、10は問2で「3 精神障害」と回答した人】

問9 「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(単数回答)

精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度についてみると、「2級」が51.1%と最も高く半数を超えており、次いで「3級」が32.8%となっています。

年齢別にみると、60歳未満では「2級」、60～69歳では「2級」と「3級」、70～79歳では「3級」が最も高くなっています。



■年齢別

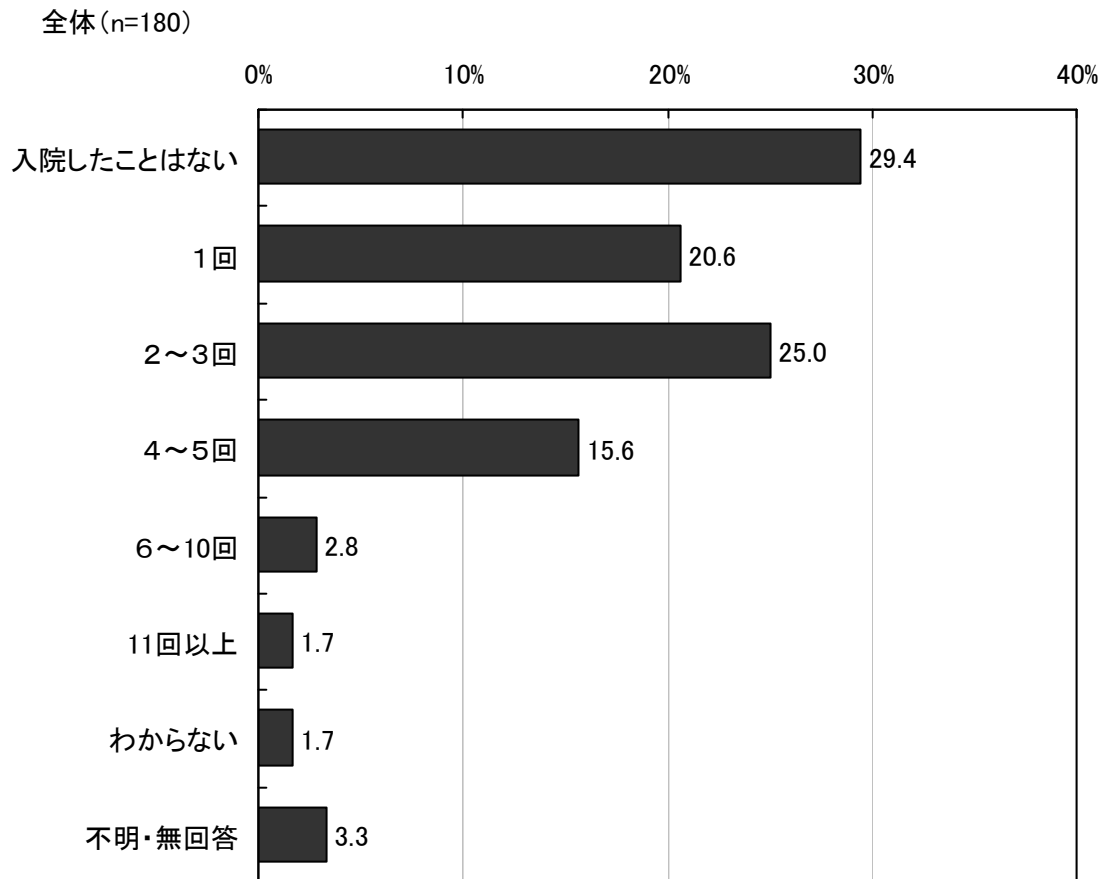
		n数	1級	2級	3級	不明・無回答
年齢別						
精神障害	10～19歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	20～29歳	23	8.7	56.5	34.8	0.0
	30～39歳	49	16.3	46.9	34.7	2.0
	40～49歳	56	14.3	48.2	35.7	1.8
	50～59歳	24	8.3	70.8	12.5	8.3
	60～69歳	15	20.0	40.0	40.0	0.0
	70～79歳	6	16.7	16.7	66.7	0.0

問 10 精神科または神経科の病院への入院についてうかがいます。

(1) 今までに何回くらい入院したことがありますか。(単数回答)

精神障害者保健福祉手帳を持っている方の入院の経験についてみると、「入院したことはない」が29.4%と最も高く、次いで「2～3回」が25.0%、「1回」が20.6%となっています。

年齢別にみると、30～59歳を除いた各年代で「入院したことはない」が高くなっています。また、30～39歳では「1回」、40～49歳では「2～3回」と「4～5回」、50～59歳では「2～3回」が最も高く、10～19歳については「4～5回」も最も高くなっています。



■年齢別

	n数	入院したことはない	1回	2～3回	4～5回	6～10回	11回以上	わからない	不明・無回答
年齢別									
精神障害	10～19歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	20～29歳	23	47.8	13.0	26.1	13.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	49	30.6	32.7	18.4	10.2	2.0	2.0	2.0
	40～49歳	56	23.2	17.9	25.0	25.0	3.6	1.8	0.0
	50～59歳	24	16.7	20.8	41.7	8.3	4.2	4.2	0.0
	60～69歳	15	40.0	6.7	13.3	13.3	6.7	0.0	13.3
	70～79歳	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0

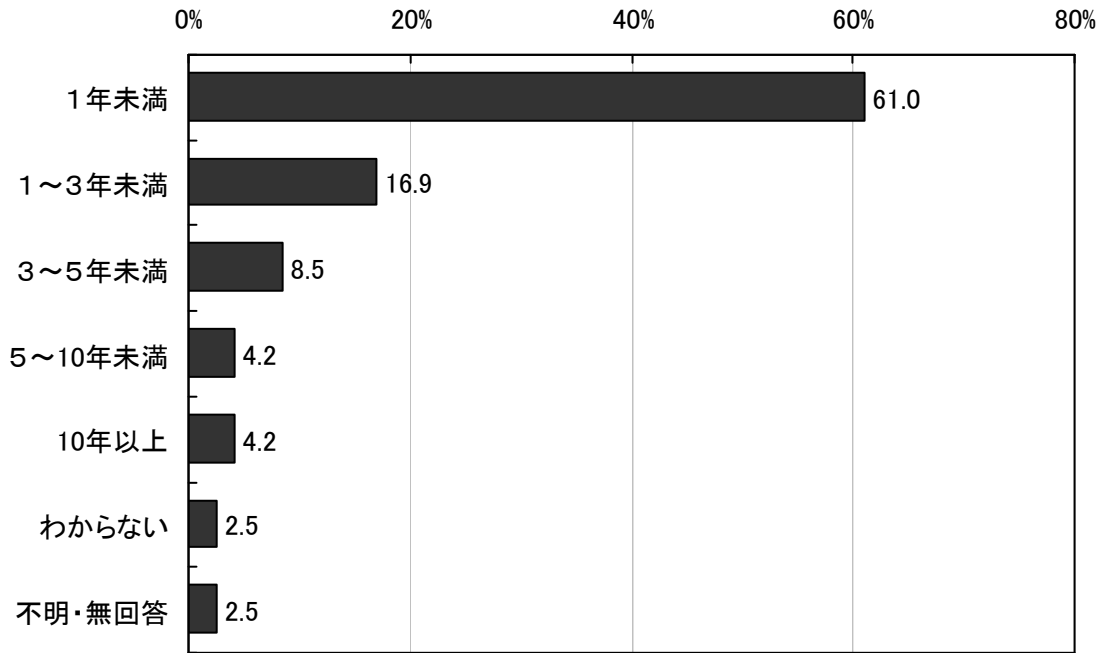
【問 10（1）で「入院したことがある」と回答した人】

（2）これまでの入院期間を全部合わせるとどれくらいになりますか。（単数回答）

入院したことがある方の入院期間についてみると、「1年未満」が 61.0%と最も高く、次いで「1～3年未満」が 16.9%、「3～5年未満」が 8.5%となっており、5年未満が8割を超えています。

年齢別にみると、すべての年代で「1年未満」が最も高くなっています。

全体 (n=118)



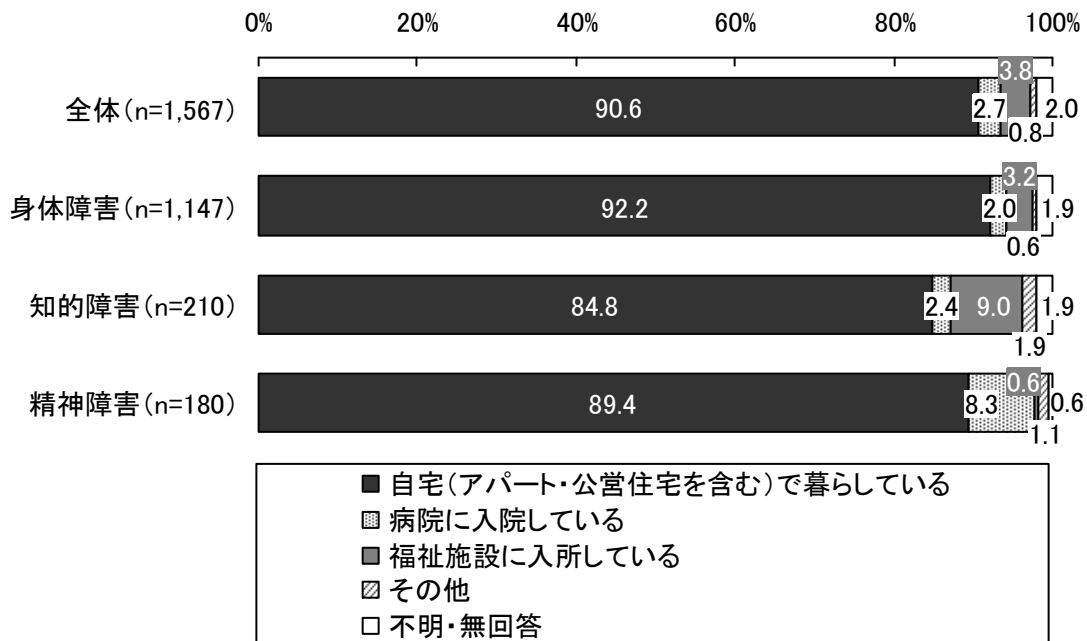
■年齢別

		n数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	わからない	不明・無回答
年齢別									
精神障害	10～19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	12	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	32	71.9	12.5	6.3	3.1	6.3	0.0	0.0
	40～49歳	41	53.7	24.4	7.3	7.3	2.4	0.0	4.9
	50～59歳	19	42.1	15.8	15.8	0.0	5.3	15.8	5.3
	60～69歳	6	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	70～79歳	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

問 11 あなたは現在、どこで生活していますか。(単数回答)

現在の住まいについてみると、全体及び3障害すべてにおいて「自宅（アパート・公営住宅を含む）で暮らしている」が最も高く8割から9割を超えています。しかし、知的障害では「福祉施設に入所している」、精神障害では「病院に入院している」が1割弱となっており、他の障害と比べ高くなっています。

年齢別・家族の有無別・介助の有無別についても、すべてにおいて「自宅（アパート・公営住宅を含む）で暮らしている」が8割を超えています。



■年齢別／家族の有無別／介助の有無別

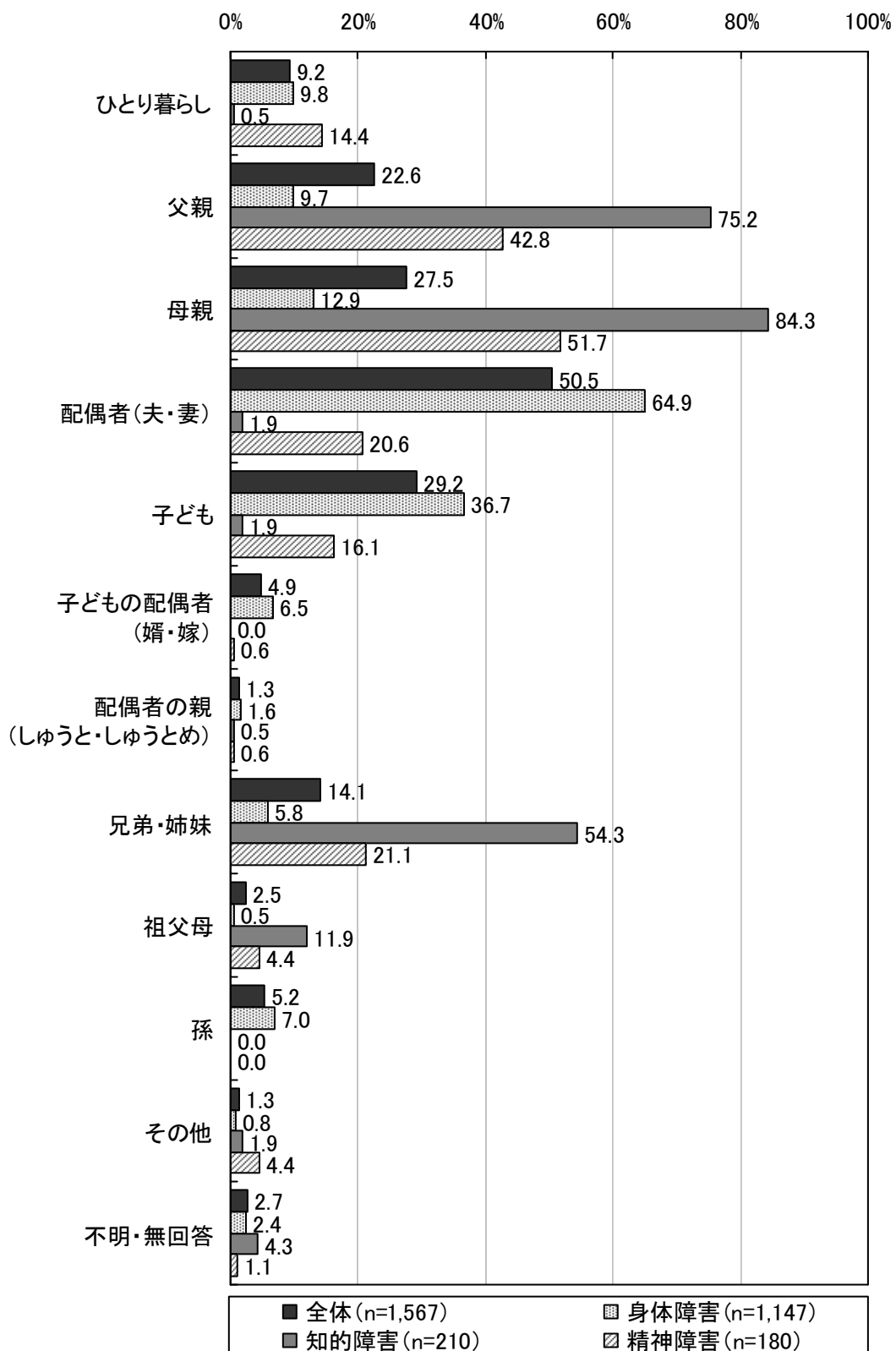
		n数	自宅(アパート・公営住宅を含む)で暮らしている	病院に入院している	福祉施設に入所している	その他	不明・無回答
年齢別							
全体	10歳未満	37	97.3	2.7	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	76	97.4	0.0	2.6	0.0	0.0
	20～29歳	76	92.1	0.0	5.3	1.3	1.3
	30～39歳	177	84.2	5.1	6.2	3.4	1.1
	40～49歳	154	89.0	5.2	3.9	0.0	1.9
	50～59歳	167	87.4	6.0	4.8	1.2	0.6
	60～69歳	351	93.2	2.3	2.0	0.9	1.7
	70～79歳	347	91.9	1.7	3.2	0.0	3.2
80歳以上	136	91.9	0.7	3.7	0.0	3.7	
家族の有無別							
全体	ひとり暮らし	144	80.6	4.2	12.5	1.4	1.4
	同居家族あり	1,380	93.6	2.6	2.1	0.7	1.0
介助の有無別							
全体	介助なし	847	96.7	0.6	1.5	0.5	0.7
	介助あり	619	83.5	5.7	7.3	1.5	2.1

問 12 現在一緒に住まいの家族はどなたですか。(複数回答)

現在、同居している家族についてみると、全体では「配偶者（夫・妻）」が 50.5%と最も高く、次いで「子ども」が 29.2%、「母親」が 27.5%となっています。

障害種別でみると、身体障害では「配偶者（夫・妻）」が最も高く、次いで「子ども」となっています。知的障害や精神障害では「母親」や「父親」の割合が高くなっています。

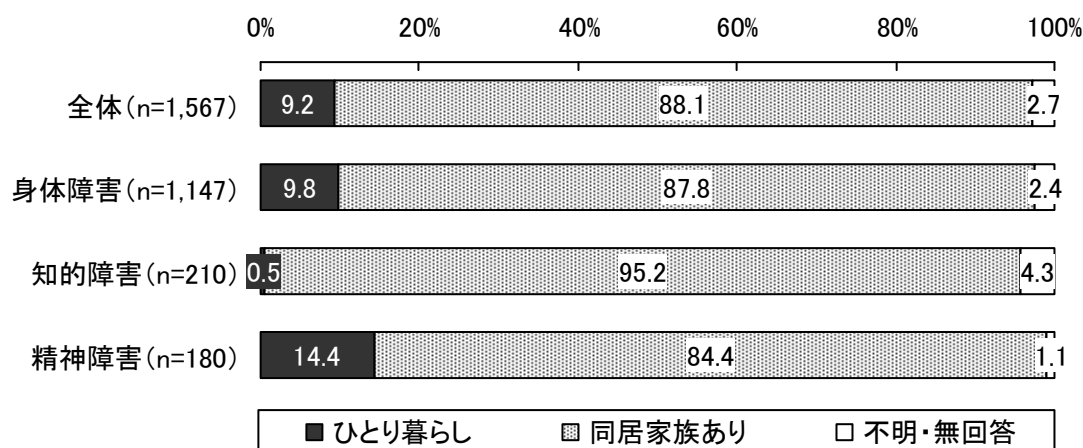
【同居家族の内訳】



現在の同居家族の有無についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「同居家族あり」が最も高く8割を超えています。しかし、「ひとり暮らし」で、知的障害ではほとんど見られないのに対し、精神障害では1割を超えており、障害の種類によって違いがうかがえます。

介助の有無別にみると、「介助なし」では「配偶者（夫・妻）」、「介助あり」では「母親」が最も高くなっています。

【同居家族の有無】



■介助の有無別

		n数	ひとり暮らし	父親	母親	配偶者(夫・妻)	子ども	子どもの配偶者(婿・嫁)
介助の有無別								
全体	介助なし	847	11.8	13.2	17.1	60.7	34.5	5.0
	介助あり	619	6.5	37.2	43.8	36.8	21.5	4.4
		n数	配偶者の親(しゅうと・しゅうとめ)	兄弟・姉妹	祖父母	孫	その他	不明・無回答
介助の有無別								
全体	介助なし	847	1.8	9.0	1.5	5.2	1.3	1.2
	介助あり	619	0.8	22.8	4.0	5.3	1.5	3.1

2 介助のことについてうかがいます

問 13 日常生活状況についてお聞きします。

(1) 食事をする (単数回答)

全体では、「一人でできる」が8割弱となっています。

障害種別で見ると、身体障害と精神障害では「一人でできる」が8割を超えているのに対し、知的障害では7割を切っており、「一部介助が必要」が1割を超えています。

